

6月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和3年6月末現在〕

令和3年7月12日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」は悪化したが、「売上高」「収益状況」は改善した。

業種別では、製造業で「景況」「売上高」「収益状況」全てで改善した。非製造業では「景況」は悪化したが、「売上高」「収益状況」は改善した。

今月は改善の動きも見られたが、原料や燃料等の値上がりにより、収益を圧迫する傾向が前月に引き続き見られた。

景況DI

製造業は、前月比で3.8ポイント改善の-38.5ポイント、非製造業は、前月比8.4ポイント悪化の-41.7ポイント、全体では、前月比2.0ポイント悪化の-40.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比15.4ポイント改善の-11.5ポイント、非製造業は、前月比8.3ポイント改善の-29.2ポイント、全体では、前月比12.0ポイント改善の-20.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比3.9ポイント改善の-34.6ポイント、非製造業は、前月比4.1ポイント改善の-41.7ポイント、全体では前月比4.0ポイント改善の-38.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	学校給食パン	人手不足は依然として変わらず、当業界においても非常に問題である。	
	清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県5月の清酒課税移出数量は、前年同月比112.9%であった。大きく伸びたように見えるが、前年5月がコロナ禍の影響で大きく落ち込んだためであり、コロナ禍前の前々年同月比では71.7%の減でかなり厳しい。本格焼酎については、前年同月比130.0%であったが、前々年同月比では55.8%とさらに厳しい状況。首都圏でまん延防止等重点措置が発令され、茨城でもコロナのクラスター発生が続き、酒を取り巻く環境は依然厳しい。清酒の輸出については、県や企業間で温度差があるもののコロナ禍で国内マーケットが不安定の中、輸出に力を入れて、5月の前年同月比輸出数量(全国ベース)は、242.9%と好調であった。新型コロナウイルスの感染が落ち着いている、香港・中国が好調で、香港・中国・米国で輸出の60%以上を売り上げている。 ○県内当業界について まだまだ新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種には時間を要し、現在も旅行・会食の自粛が続いている。外飲みが期待できない中、購入の選択肢に品質が高くなっている地酒をアピールしていくことが課題と感じている。まずは地元茨城での地酒購入推進に注力する。	
	納豆	前年同月はコロナ禍の需要増の影響で量販店等での納豆の売上が大変良かったが、今年は売上が一般消費者用、土産品とも悪い。資材や原料等の値上げにより収益が圧迫され、業界全体の景況が悪化している。	
	菓子	ワクチンの接種が進められているが、1年半にも及ぶ新型コロナウイルスの影響を受け、景況の改善はまだまだ先の様である。	
	繊維工業	袋物	前月に引き続き今月も各組合員は苦戦している。雇用調整助成金や給付金に頼る現状である。
	木材・木材製品	製材	・ウッドショックにより、全般的に製品価格の高騰・品不足の状況である。 ・原木の価格は値下がり始めた。 ・住宅着工にも影響が出ている。
		県北地区プレカット	前年同月比で加工予定は今年は多いが、ウッドショックの影響で材料が一部揃わず、出荷が出来ない。(加工予定が入っているが、予定が立てられない。)木材価格の動向も見通しが立たない。
		県央地区プレカット	木材不足により納材の見通しが立たず、加工スケジュール・建て方(現場での主要な構造材の組み立て)の日程が不透明な状態が続いている。まだしばらくこの状態が続くと思われる。早めの図面打合せが多いせいか見積物件は前年同月よりも増加している。
	紙・紙加工品	段ボール	前年より売上は回復傾向にあるが、前々年の実績には及ばない。緊急事態宣言の影響もあり、客先も在庫の調整に苦戦しているようである。今年いっぱいこのような先の見えない状況が続くそうである。
	印刷	総合印刷	売上高や業界の景況等は低調に推移。「紙への印刷」需要が大きく落ち込んでいる状況がいつまで続くのか、中小零細印刷業にとって不安感は大い。
窯業・土石製品	陶磁器	全国的に新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、今後のイベントの開催についても不透明である。	
鉄鋼・金属	鉄鋼	売上は前年同月比で20%程度増加した。しかし、前年の実績が悪かった為であり、2.3年前の同月と同程度の売上である。今後、7月8月の売上の推移に注目している。貴金属・亜鉛・銅・ニッケル等の金属は価格が値上がりしている。薬品等については大きな変動はない。	
一般機器	生産用機械	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月と比べてすべて増加となった。全体増減率は前年同月比139%であった。前月に引き続き主要得意先からの受注増加が継続しており、全社とも売上高が前年同月比を大幅に上回っている。前年のコロナ禍の影響は払拭されつつある。	
輸送用機器	県北地区自動車部品	生産高は一定の基準を維持しているが、部品の価格上昇傾向により収益を圧迫している。	

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和3年6月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比10.05%減少。前年6月は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で量販店（スーパー等）の取扱いが伸びていたためである。また、最近では輸入食材の単価が上がっており、卸業者も販売に苦慮している状況である。当組合運営の冷蔵倉庫も4月から再稼働しているが、建替え期間と同時期に感染拡大したため、再稼働して3ヶ月経過しても扱い貨物量が伸びず、厳しい状況である。
	セメント卸	袋セメントの出荷袋数は前年同月比約10%の減少となった。工法の変化に伴う減少もあるが、建設工事そのものが少なくなっていることが要因と思われる。
小売業	県北地区共同店舗	売上は前年同月比92.8%、客数は同87.8%であった。前年同月の売上が好調だったのもあり、反動で今年は厳しい結果となった。令和3年度のプレミアム付き商品券事業が7月から始まるので、今後に期待したい。
	県央地区共同店舗	館全体の売上(客数)は前年同月比95%(95%)、食品98%(98%)、飲食95%(91%)、ファッション89%(92%)であった。施策として、前年開催出来なかった「特別ご招待会」を6/24～6/26で開催したが、前年同月と比べると全体的に厳しい結果となった。前年6月は特別定額給付金の支給があり、コロナ禍でも全体的に売上が上がったが、今年は特に婦人服、靴、鞆を取り扱う店舗の売上減が目立った。当組合の道路向かいの場所に大手小売業の店舗の出店が決定し、近隣店舗を含めた価格競争が懸念される。
	県南地区共同店舗	6月に入って、会社関連・学校関連に少しずつはあるが動きが出てきたように感じる。ランチ時の飲食店や、雑貨関連の状況が良くなってきた。しかし、反面6月7月で撤退する店舗も2店あり、組合として収入面がかなり厳しくなる。売上高は前年同月比で、全体101.0%、衣料95.0%、文化品167.2%（大口受注があるため）、食料品83.9%、飲食101.5%、サービス112.9%となった。
	家電	巣ごもり消費のある中で、顧客との接点を持てるように各店が知恵を絞り、コロナ禍でも前年同月とほぼ変わらぬ売上をキープしている。夏商戦への早期対策を工夫し、熱中症対策を念頭に置いて、対応力や技術力等の専門店の活動が期待される。
	燃料小売	前年同月よりガソリンの販売数量・販売価格は上昇していたが、原油価格の上昇分の仕入値が販売価格に転嫁出来ずにより、収益状況は悪化していると言える。今後の原油価格の上昇と、それによる消費者の買い控え等が起こる事が不安視される。
	中古自動車	販売台数は前年同月比93.1%と減少したが、販売価格が同115.0%と大幅に上昇したことにより、売上高は同107.2%と大きく増加した。半導体の供給不足による新車製造の遅れから納期が先延ばしになっている影響で、下取車不足による流通車の減少と相場の高騰が在庫車の確保を厳しくしており、今後しばらくの間は流通・小売市場に影響を与える事が予想される。
	食料品	食品流通業により、新型コロナウイルス感染拡大の中での食のライフラインを担っているため、売上に限っては比較的好調に推移してきた。しかし、前年の巣ごもり需要の拡大の実績の影響を受け、今年3月からは前年実績から大きく下回ってしまった。当月の店頭売上は前年同月比90%以下の店舗が続出した。特に、豆腐・納豆などの和日配（和風の毎日店舗に配送される食品）、ドライグロサリー（冷蔵を要しない食品。お菓子や調味料等。）の売上が90%割れをして苦戦が続いた。しかしながら、前々年同月の売上と比較するとほぼ同じ数字で推移しているため、店舗運営について大きな影響は出ていない。
	野菜・果実	当月は、野菜果実合計で前年同月比85%の取扱高となった。野菜に関しては、中旬に関東で平年より遅い梅雨入りが発見されるが、それほど天気は崩れず、ほどよい雨と日照時間から、葉物類を中心に出荷増。単価は安値で推移することとなった。また、露地栽培に限らず家庭菜園の方も順調なようで、自給自足やお裾分けによって需要が満たされ、小売店まで足が伸びないとの話もよく聞かれた。
商店街	筑西	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少している。
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が100.56%、軽自動車が99.10%となり、普通車・軽自動車ともに横ばいとなった。
	ホテル・旅館	前月以上に景況は悪化している。当月の売上高の増加は、前年同月は休業して悪化していたための結果であり、実績の数値はかなり悪い。人流抑制措置(緊急事態宣言やまん延防止等重点措置)の延長によりイベントもなく、措置が解除されなければ、県外からの流入は本来の動きには程遠い状況になると考えられる。
建設業	総合	予測通りに工事入札が活発化してきているが、まだ工事の着工に至らない物件が多く、各社社員の仕事が少ない状況が続いている。技術者不足の年度末と技術者余剰の年度初めの状況は、年間の利益を減少させる。建設重機のリース会社も同様で数多くの重機が稼働していない。
	電気工事	売上高にさほど変化はないが、官民ともに見積り件数は増加している。
	型枠工事	前月に引き続き、県内の建設業者は、前年度の事業を継続しながら、新年度の工事発注を待っている状態である。見積り物件は、少しずつ増えているので、期待が持てる状態になりつつある。しかし、一部の地域や特定の業者の中には、極端に仕事が薄い状態が続いている所もあり、大変不安を感じている。

非
製
造
業

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和3年6月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非 製 造 業	運輸業	
	一軽貨物運送	当月の組合員数は118名、車輛台数は151台で前月と比較して増減なしとなった。また、運送売上高については、前年同月比104.3%であった。全国連合会での当月の組合員数は7,391名、車輛台数8,790台で前月と比較して16名減少、18台減少であった。
	県北地区一般貨物	主要顧客の動向の影響で、出荷物量は減少したまま、売上高も減少したまま継続している。一方、燃料価格はさらに上昇・高騰し、経費は増加、収益は益々厳しい状況にある。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	学校給食におけるパン給食現状維持と回数増を要望する。
	清酒	酒造業者はコロナ禍により重大な経済的被害を受けており、今後現況に変化がない場合は行政への再度の持続化給付金等の財政支援のご検討をお願いしたい。
	納豆	今年こそは最低賃金の上昇は止めて頂きたい。中小企業は大変厳しい。
小売業	県央地区共同店舗	・今年も9月より笠間市プレミアム付商品券の使用が決定し、消費拡大に期待している。 ・協同組合や店舗が活用できる補助金や助成金の情報を教えて欲しい。
	燃料小売	・新型コロナウイルス感染症対策に対する補助 ・揮発油税に課税している二重課税の廃止
建設業	総合	さらなる工事発注の平準化に努力をお願いしたい。
	型枠工事	先月に引き続き、主要な都市に発せられた緊急事態宣言が解除され、まん延防止等重点措置に1ランク下げられたが、新型コロナウイルス感染症の感染者は再び増加傾向にある。このような状態が続けば、日本経済の衰退や国民の皆様の消費が減少していくことに繋がっていくように思う。このような事態を吹き飛ばすような、画期的な経済対策を早急に行なって欲しい。

月次景況調査 6月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	6月	5月	前月比	6月	5月	前月比	6月	5月	前月比
景 況	▲ 40.0	▲ 38.0	▲ 2.0	▲ 38.5	▲ 42.3	3.8	▲ 41.7	▲ 33.3	▲ 8.4
売 上 高	▲ 20.0	▲ 32.0	12.0	▲ 11.5	▲ 26.9	15.4	▲ 29.2	▲ 37.5	8.3
収 益 状 況	▲ 38.0	▲ 42.0	4.0	▲ 34.6	▲ 38.5	3.9	▲ 41.7	▲ 45.8	4.1
販 売 価 格	0.0	2.0	▲ 2.0	▲ 3.8	7.7	▲ 11.5	4.2	▲ 4.2	8.4
取 引 条 件	▲ 16.0	▲ 14.0	▲ 2.0	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 0.0	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 4.2

中小企業月次景況調査(令和3年6月)DI値(前年同月比)

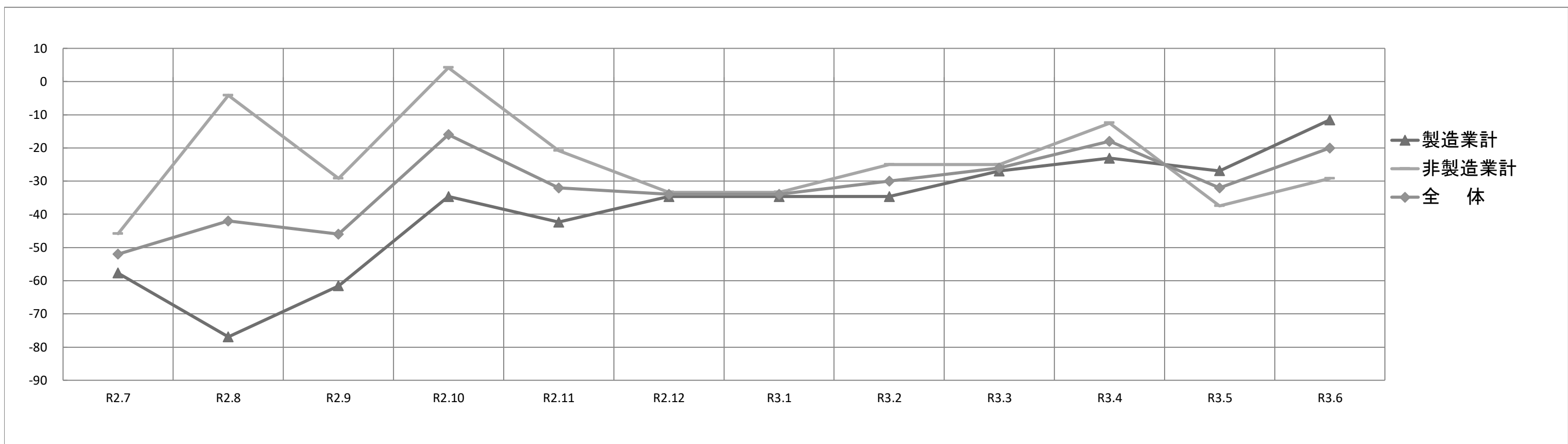
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)														
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数							
製造業	食料品	△ 66.7	1	0	5	6	0.0	1	4	1	6	△ 16.7	0	5	1	6	0.0	0	6	0	6	△ 50.0	1	1	4	6	△ 33.3	1	2	3	6	△ 50.0	0	3	3	6	△ 50.0	0	3	3	6	△ 66.7	0	2	4	6
	繊維工業	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3
	木材・木製品	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	33.3	1	2	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	化学・ゴム	△ 100.0	0	0	1	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	窯業・土石製品	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5
	鉄鋼・金属	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	一般機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1
	電気機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	33.3	1	2	0	3	33.3	1	2	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3
製造業計	△ 11.5	6	11	9	26	0.0	3	20	3	26	△ 3.8	2	21	3	26	△ 19.2	0	21	5	26	△ 34.6	2	13	11	26	△ 30.8	1	16	9	26	△ 11.5	3	17	6	26	△ 11.5	1	21	4	26	△ 38.5	1	14	11	26	
非製造業	卸売業	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	X	0.0	0	3	0	3	△ 100.0	0	0	3	3				
	小売業 (商店街含む)	△ 41.7	1	5	6	12	△ 8.3	0	11	1	12	8.3	2	9	1	12	△ 16.7	0	10	2	12	△ 41.7	0	7	5	12	△ 25.0	0	9	3	12		△ 16.7	0	10	2	12	△ 41.7	0	7	5	12				
	サービス業	50.0	1	1	0	2	X	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1		2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2			
	建設業	△ 20.0	1	2	2	5		△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0		5	0.0	0	5	0	5	0.0	1	3	1	5			
	運輸業	0.0	0	2	0	2		0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0		2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2			
	非製造業計	△ 29.2	3	11	10	24		△ 13.3	0	13	2	15	4.2	3	19	2	24	△ 12.5	0	21	3	24	△ 41.7	0	14	10	24	△ 20.8	0	19	5		24	△ 8.3	0	22	2	24	△ 41.7	1	12	11	24			
全体	△ 20.0	9	22	19	50	△ 4.9	3	33	5	41	0.0	5	40	5	50	△ 16.0	0	42	8	50	△ 38.0	2	27	21	50	△ 26.0	1	35	14	50	△ 11.5	3	17	6	26	△ 10.0	1	43	6	50	△ 40.0	2	26	22	50	

D I 値推移表 (R2.7月 ~ R3.6月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6
食料品製造業	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 55.0	▲ 70.0	▲ 60.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 15.0	5.0
製造業計	▲ 57.7	▲ 76.9	▲ 61.5	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 11.5
卸売業	0.0	50.0	25.0	100.0	25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	100.0	33.3	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 63.6	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	9.1	▲ 16.7	▲ 58.3	▲ 41.7
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0
建設業	▲ 20.0	20.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0
非製造業計	▲ 45.8	▲ 4.2	▲ 29.2	4.2	▲ 20.8	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 29.2
全体	▲ 52.0	▲ 42.0	▲ 46.0	▲ 16.0	▲ 32.0	▲ 34.0	▲ 34.0	▲ 30.0	▲ 26.0	▲ 18.0	▲ 32.0	▲ 20.0

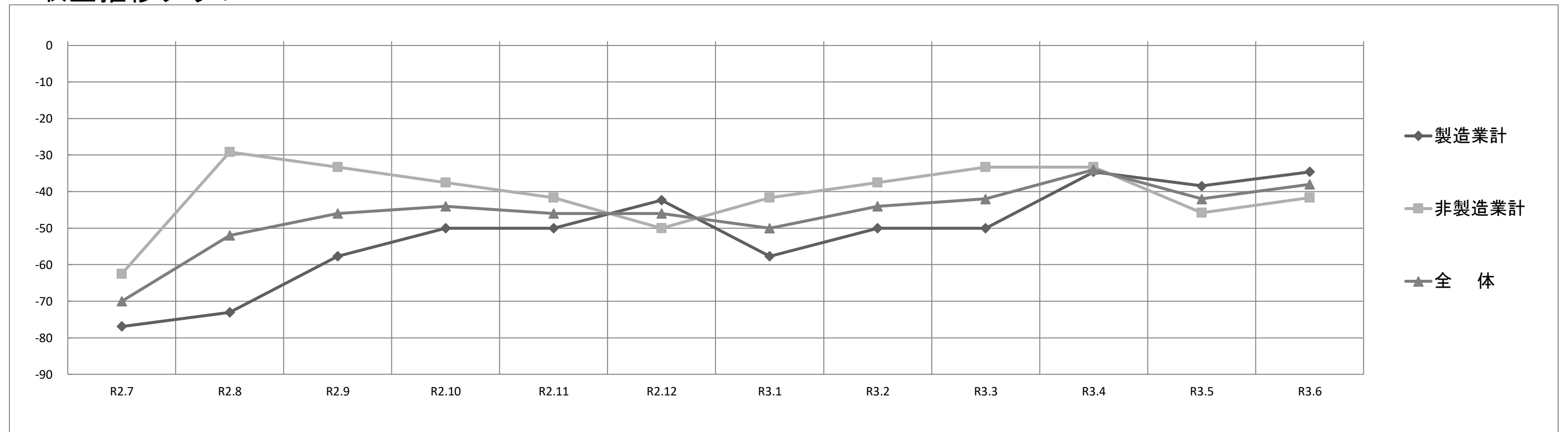
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 85.0	▲ 80.0	▲ 65.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 35.0	▲ 55.0	▲ 45.0	▲ 50.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0
製造業計	▲ 76.9	▲ 73.1	▲ 57.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 42.3	▲ 57.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 34.6	▲ 38.5	▲ 34.6
卸売業	▲ 25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	33.3	▲ 33.3	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 90.9	▲ 45.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 36.4	▲ 41.7	▲ 58.3	▲ 41.7
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	▲ 20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 62.5	▲ 29.2	▲ 33.3	▲ 37.5	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 45.8	▲ 41.7
全体	▲ 70.0	▲ 52.0	▲ 46.0	▲ 44.0	▲ 46.0	▲ 46.0	▲ 50.0	▲ 44.0	▲ 42.0	▲ 34.0	▲ 42.0	▲ 38.0

《収益推移グラフ》

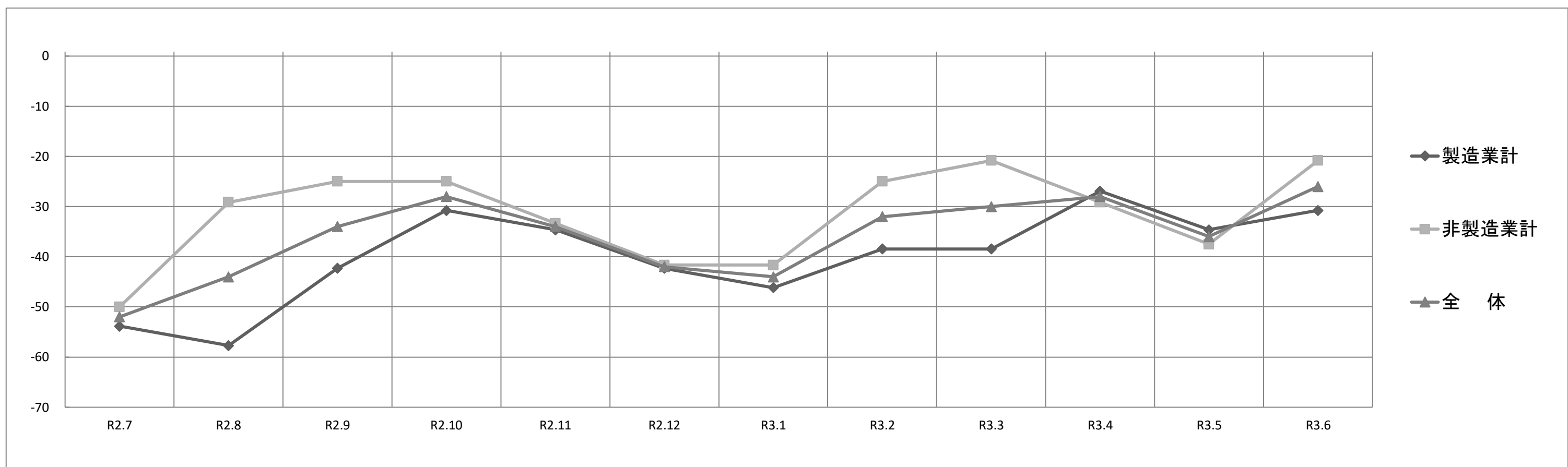


D I 値推移表 (R2.7月 ~ R3.6月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 60.0	▲ 55.0	▲ 45.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 30.0
製造業計	▲ 53.8	▲ 57.7	▲ 42.3	▲ 30.8	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 46.2	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 30.8
卸売業	▲ 25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 81.8	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 45.5	▲ 18.2	▲ 41.7	▲ 58.3	▲ 25.0
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 50.0	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 37.5	▲ 20.8
全体	▲ 52.0	▲ 44.0	▲ 34.0	▲ 28.0	▲ 34.0	▲ 42.0	▲ 44.0	▲ 32.0	▲ 30.0	▲ 28.0	▲ 36.0	▲ 26.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 60.0	▲ 25.0	▲ 45.0	▲ 30.0	▲ 55.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 30.0
製造業計	▲ 69.2	▲ 65.4	▲ 57.7	▲ 38.5	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 57.7	▲ 38.5	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 38.5
卸売業	▲ 50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 33.3	▲ 100.0
小売業(商店街含む)	▲ 72.7	▲ 45.5	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 41.7	▲ 41.7
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	▲ 40.0	▲ 40.0	0.0	0.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 37.5	▲ 29.2	▲ 33.3	▲ 54.2	▲ 45.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 29.2	▲ 33.3	▲ 41.7
全体	▲ 60.0	▲ 50.0	▲ 48.0	▲ 34.0	▲ 42.0	▲ 46.0	▲ 52.0	▲ 32.0	▲ 34.0	▲ 32.0	▲ 38.0	▲ 40.0

《景況推移グラフ》

